九州大会で司会者に抜擢！

12 月 21 日㈯小雨が降る中、九州高等学校理科教育研究会、 福岡県高等学校理科部会、 福岡県高等学校芸術・文化連盟主催の令和6年度九州高等学校生徒理科研究発表大会福岡大会が福岡工業大学で開催されました。福岡県が会場となるのは 8 年ぶりです。九州 8 県で会場を持ち回りをしているので当たり前のことではあるが、落ち着いて考えてみると、次に福岡県が会場となるのは、令和 14 年度（2032 年度）なのです。なんと貴重な年に私たちは、運営スタッフとして携わることができたのかと、あらためて嬉しくなります。
運営スタッフとして育徳館に与えられた仕事は、地学部門の会場設営（機器）・受付・案内・接待です。地学部門の発表会場には、常時 8 県の参加人数 68 名が緊張の面持ちで埋め尽くされていました。途中で他の会場より見学者が訪れるので、会場設営の時に準備した椅子はあっという間に足りなくなりました。
発表者の緊張とは別に、育徳館も司会進行の任務を高校 1 年兒田優希・倉垣晴菜の 2 人がすることになり、ハラハラドキドキの時間を過ごすことになりました。

発表者のリハーサルいわゆる動作確認時間帯より、2 人は与えられた原稿にふりがなを付けたり、読み方を発表者と打合せしながら時間を過ごしました。
あっという間に午前中が終わってしまいました。
一方、受付と誘導が終わった他のメンバーは、ポスター発表会場にいき、各県の貴重な発表を聞いて楽しんむことができました。

今回はエントリーできず、運営スタッフ（裏方）として大会に参加しました。
2025 年、来年こそは、発表する側（表舞台）で大会に参加することを心に固く、
みんなで誓いました。それぞれが今手がけている研究課題に向けて、
より一層意欲がみなぎってきた 1 日でありました。